

令和4年度【姫路市】認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の人とその家族に対し、理解あるまちづくりの推進

- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 認知症に対する住民理解の啓発
- ・ 認知症の人の支援等に関わる医療介護の連携
- ・ 認知症ケアパスの作成、運営
- ・ 地域包括支援センターの支援

報告者氏名：姫路市地域包括支援課 小林由美
認知症地域支援推進員 堀江笑加

姫路市介護保険事業計画（第8期）

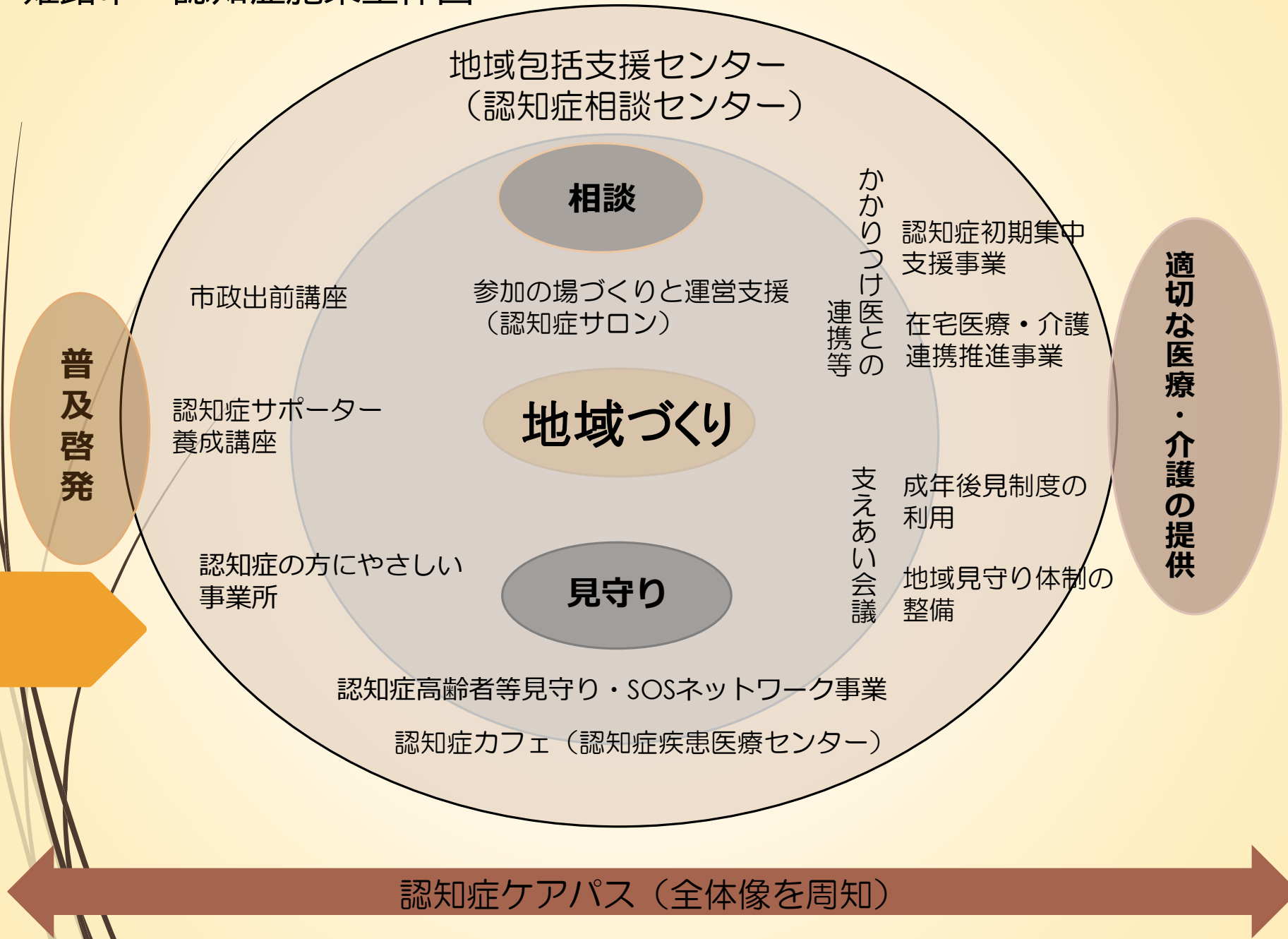
【基本目標】

認知症とともに暮らす地域の実現

【重点事項】

- ・ 認知症にやさしい地域づくり
- ・ 認知症になるのを遅らせるための取組
- ・ 認知症になっても
地域で暮らし続けるための取組

姫路市 認知症施策全体図



標題 姫路市における認知症サロン・カフェの取組

○認知症サロンの取組の経緯

<開始> 平成26年7月

<位置づけ>

- ・認知症の人と家族が地域住民とともに過ごせる継続的な通いの場

<目的>

- ・認知症への理解の促進
- ・高齢者の地域での孤立防止
- ・認知症（MCI）の早期発見・進行予防

<課題>

- ・地域包括支援センターが立ち上げ及び運営の支援を行っているが、常駐の専門職が確保できていない。

⇒専門職常駐の認知症カフェの創設を検討

○専門職が常駐する認知症カフェの創設に向けて

既存の認知症サロンとの違いを整理し、認知症カフェとして、認知症疾患医療センター内設置に向けて取り組む。

事業	認知症カフェ	認知症サロン
対象者	市内在住の認知症と診断された人とその家族	地域住民 (認知症であるか否かは問わない)
目的	医療系専門職による相談・助言 家族同士の交流を目的としたピア活動	認知症への理解の促進 高齢者の地域での孤立防止 認知症(MCI)の早期発見・進行予防
開催場所	認知症疾患医療センター内 令和5年度1か所設置	地域の公民館等 R5年1月末現在 95か所
配置人員	社会福祉士・精神保健福祉士・保健師・看護師・ 作業療法士等の専門職1名以上	認知症サポーター
内容	治療や介護に関する相談会 レクリエーション 茶話会	レクリエーション 茶話会
地域包括支援センターの役割	必要時の連携 周知・啓発	立ち上げ支援 運営支援

⇒ 令和5年度 姫路中央病院認知症疾患医療センターに認知症カフェを創設

▶ 最後に・・・

認知症サロン・カフェは、地域の実情や状況に応じ開催することで、本来の目的を達成することが重要と考えます。だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる“認知症とともに暮らす地域”を実現するための地域資源として、十分機能するよう連携していきたいと思えます。